

# 神代地域運営体だより

平成 25年4月1日

第7号

通巻第19号

## 生活環境支援部から

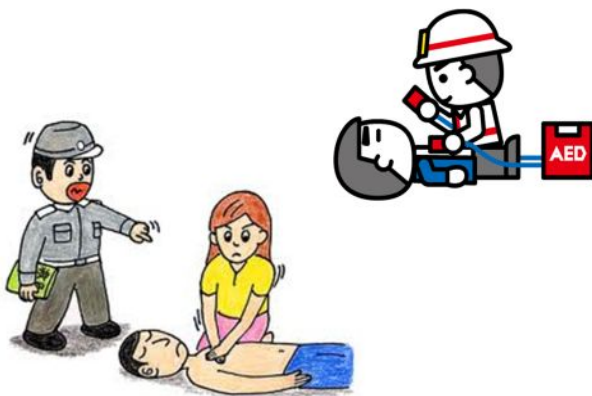
発行機関 神代地域運営体

発行責任者 古郡朝男

神代字野中清水 292-1 TEL 44-2112

3月12日（火）、仙北市就業改善センター婦人研修室にて普通救命講習会を開催いたしました。

大曲仙北広域市町村圏組合角館消防署田沢湖分署より3名の講師を招き、地域住民のみならず、地域内事業所からも大勢の参加があり、28名という大人数でおこなわれました。



3時間という長時間にもかかわらず、受講者は熱心に講師の話に耳を傾け、実技に取り組んで自動対外式除細動器（AED）の正しい使用方法や救急時の対応を学んでおりました。

## 平成25年度総会について

日時 平成25年4月6日（土）午前10時00分から

会場 仙北市就業改善センター大集会室

案件 平成24年度事業報告並びに収支決算について・監査報告

平成25年度事業計画並びに収支決算について



## 平成24年度を振り返って

平成24年度神代地域運営体各支援部事業は、3月12日(火)に生活環境支援部が実施した「救命講習会」をもって終了し、3月19日(火)の役員会において今年度の事業についての総括と来年度に向けた計画を承認されました。今年度の事業の中で特筆すべきは、産業振興支援部が「雪椿加工グループ」を立ち上げたことです。加工グループの誕生は、神代地域運営体が待ち望んできたことであり、「野菜の生産～加工～販売システムの確立」を目指す上で大きな前進であり、次年度からの活動に期待をしています。これまで設立にご尽力をいただいた方々に感謝を申し上げます。又、反省点は、地域の皆様に「運営体」について十分なお理解をいただくべき広報へ事務局の努力が足りなかったことです。次年度は、より一層ご理解とご協力を得られますよう頑張っていきたいと考えますので何卒よろしくお願いいたします。この1年、多面にわたってのご支援を賜り誠に有難うございました。

### 各支援部から

#### 産業振興支援部

今年度は、学校教育との連携事業として神代小3年生と協力し、べに花や大根の種まきから収穫、いぶり、漬け込み作業をして最終的には「いぶりがっこ」の販売をおこないました。また、由利本荘市の「集落活性化事業」を研修し、副市長より「地域ビジネスに向けた6次産業」の講演をいただきました。そして、次への第1歩として「雪椿加工グループ」を設立しました。しかし、今年度は活動場確保などの諸問題を解決出来ませんでした。来年度は、学校教育との連携事業における「いぶりがっこ」生産の拡大と加工グループの活動活性化、地域特産物の開発と販路拡大、更なる野菜の二次利用を目指していきます。

#### 生活環境支援部

昨年度に引き続き地域環境美化事業として手習石地区の環境保全に協力し、初めての試みとして地域防災対策事業として普通救命講習会を開催いたしました。今年度は、新たな地域生活環境改善を模索しましたが、活動に活かせることは出来ませんでした。来年度は事業の継続と地域生活環境を目指します。



#### 福祉支援部

地域の皆様にもっと健康に関心を持っていただこうと「私の健康ノート」を作成し、10月におこなわれた「長寿を祝う会」(長寿を祝う会実行委員会主催)に協力、豪雪に見舞われた冬期に「除雪ボランティア」事業をおこないました。除雪ボランティアには20名の協力をいただくことが出来ましたが、必ずしも除雪支援依頼者の要望に corres 応することが出来なかったことが反省点としてありました。来年度は年々増加する除雪支援依頼者への対応、除雪支援の在り方など検討していきます。



#### 観光伝統支援部

地域文化継承として、梅沢ささら衣裝修復に協力しました。今年度は活動が限られましたが、地域伝統継承に来年度も協力して参ります。

#### 青年女性支援部

地域のふれあいを目指し、神代小運動会の場に企画参加し、地域対抗綱引きをおこないました。また、「地域を明るく」を目指して、昨年に引き続きイルミネーション事業をおこないました。今年度は神代子ども園と新たに神代小グラウンドに設けました。地域をあかるく、そして地域内のふれあいに挑戦した1年でした。来年度は、より一層地域に貢献していきます。